

川島記念賞受賞者

学術および体育の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業に当たって授与される「川島記念賞」の05年度(平17)の受賞者は、学術賞23人、体育賞5人、奨励賞1人の計29人。受賞者は次の通り。(学部学科に続いて所属ゼミ等、出身校、進路、勤務先など)

※「川島記念賞」は、本学の理事長、総長などを務め、政界でも活躍した故川島正次郎氏の遺徳を顕彰し、同氏からの寄贈基金をもって「川島記念学生表彰基金」を置いている。

【学術賞】

杉浦由香利さん

経済学部総代・国際経済学科、狐崎知己ゼミ、千葉県専大松戸高

佐藤洋介さん

二部経済学部総代・二部経済学科、宮坂恒治ゼミ、山形県羽黒高

前沢ちづるさん

法学部総代・法律学科、内藤光博ゼミ、東京都専大附属高

五十嵐絵美さん

二部法学部総代・二部法律学科、家永登ゼミ、東京都第五商業高

井上真純さん

学術賞総代・経営学部総代・経営学科、奥村経世ゼミ、神奈川県深沢高

馬場賢一さん

卒業生総代・商学部総代・商業学科、手嶋宣之ゼミ、福岡県福岡大学附属大濠高

田中乃梨子さん

二部商学部総代・二部商業学科、東京都芝商業高

神崎梨沙さん

文学部総代・人文学科、新井勝紘ゼミ、神奈川県港北高

高橋歩さん

ネットワーク情報学部総代・ネットワーク情報学科、飯田周作プロジェクト、東京都専大附属高

佐藤愛さん

経済学部経済学科、村上俊介ゼミ、静岡県御殿場南高

伊藤賀一さん

経済学部経済学科、東京都昭和高

宍倉正邦さん

経済学部二部経済学科、佐藤文雄ゼミ、東京都岩倉高

中川瞳さん

法学部法律学科、神奈川県大磯高

小湊美里さん

法学部法律学科、小林弘和ゼミ、東京都専大附属高

田村麻衣さん

経営学部経営学科、金森剛ゼミ、千葉県船橋旭高

後藤直子さん

商学部商業学科、梶原勝美ゼミ、神奈川県洗足学園大学附属高

茂木寿子さん

商学部会計学科、鳥羽至英ゼミ、福島県郡山萌世高

村山佐智子さん

商学部二部商業学科、中村博ゼミ、東京都第一商業高

白石絢子さん

文学部日本語日本文学科、備前徹ゼミ、神奈川県大原高

渡邊尊子さん

文学部英語英米文学科、田邊祐司ゼミ、東京都武蔵丘高

鳥居幹樹さん

文学部心理学科、廣中直行ゼミ、東京都専大附属高

久保安里さん

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科、松永賢次プロジェクト、埼玉県所沢北高

【奨励賞】

眞榮城大介さん

法学部法律学科、良永和隆ゼミ、千葉県専大松戸高

【体育賞】

清澤恵美子さん

体育賞総代・経営学部経営学科、北海道歌志内高、スキー部

大宮宏正さん

経済学部経済学科、栃木県作新学院高、バスケットボール部

荒未倫宏さん

商学部商業学科、北海道池田高、スピードスケート部

森裕悟さん

商学部商業学科、東京都関東第一高、馬術部

辰巳陽亮さん

商学部商業学科、京都府洛南高、陸上競技部

大学院、法科大学院総代

博士後期課程総代

<※論文題目と指導教授は[こちら](#)>

姜徳洙さん

商学研究科商学専攻

修士課程総代・論文題目

(カッコ内は指導教授)

崔昌淳さん

経済学研究科経済学専攻「中国における金融政策の波及経路」(田中隆之教授)

法科大学院修了者総代

甘利雅子さん

課程博士18人の博士論文題目

博士後期課程総代

05年度(平17)課程博士の学位を授与される18人と論文題目は次のとおり(敬称略。カッコ内は専攻・指導教授)。

- ▽孟 勇(経済学専攻・宮本光晴)「日本企業の組織行動研究—企業成長の組織的課題—」
- ▽森住 信人(公法学専攻・日高義博)「未遂処罰の理論的構造」
- ▽渡邊 一弘(公法学専攻・岩井宜子)「少年の刑事責任—年齢と刑事責任能力の視点から—」
- ▽趙 恵 淑(日本語日本文学・高田知波)「樋口一葉作品研究」
- ▽南 雄太(日本語日本文学・柘植光彦)「村上龍作家作品研究—〈村上龍の世界地図〉—」
- ▽押山 美知子(日本語日本文学・柘植光彦)「少女マンガジェンダー表象論—〈男装の少女〉の造形とアイデンティティー」
- ▽クラウドプロトク・ウォララック(日本語日本文学・柘植光彦)「大江健三郎論—「狂気」と「救済」を軸にして」
- ▽内田 鉄平(歴史学専攻・青木美智男)「近世村社会の変容」
- ▽川口 智江(歴史学専攻・日暮美奈子)「19世紀前半ヘッセン地方における社会運動—ヘッセン-ダルムシュタット大公国の1848/49年革命再考—」
- ▽賈 暁 明(歴史学専攻・近江吉明)「フランス革命政権に対する小ピットの政策とその性格—第一回反仏同盟期を中心に—」
- ▽永島 朋子(歴史学専攻・荒木敏夫)「日本古代の服飾制度と国家・社会・王権—装身の歴史学—」
- ▽鶴高 清子(歴史学専攻・新井勝紘)「自由民権家 中島信行論—立憲政体樹立への苦闘と市民社会への仰望—」
- ▽西澤 美穂子(歴史学専攻・青木美智男)「幕末の日蘭関係」
- ▽藤波 尚美(心理学専攻・中谷和夫)「ウィリアム・ジェームズと心理学」
- ▽井上 美鈴(心理学専攻・乾吉佑)「低出生体重児の母親に関する臨床心理学的研究」
- ▽谷守 正行(経営学専攻・櫻井通晴)「銀行管理会計」
- ▽李 東 勲(経営学専攻・田口冬樹)「日本における小零細小売業に関する研究—小零細小売業の「経営目的」からの分析」
- ▽姜 徳 洙(商学専攻・上田和勇)「企業価値向上のためのリスクマネジメントに関する日韓比較研究—ガバナンスを構成するリスクマネジメントと内部統制の視点から—」

《キャンパス探訪 -31-》

相馬勝夫元総長が揮毫 — 「瑞雲」

瑞雲(ずいうん)は、めでたいことの起こる兆しとされる紫の雲。美しく、生気があってみずみずしい語で、古代日本を表現した「瑞穂(みずほ)の国」でもよく知られる。

揮毫したのは、相馬勝夫(昭和36年から51年まで学長、51年から58年まで総長)である。



「瑞雲」は、校友会誌のタイトルとして10号(平成2年)から20号(11年)まで親しまれ、相馬勝夫の揮毫による文字は20号の表紙を飾った(現在は『Adonis』として続刊)。

この『瑞雲』の文字は、楷書に近い柔らかな行書体。技巧は感じられない。清々しく、素朴な魅力を持つ。

相馬勝夫については、付言しておく必要がある。本学創立者の一人である相馬永胤の嫡孫で、若くして両親を失い、祖父・永胤の薫陶を受けた。

昭和5年、東京商科大学(現・一橋大)を卒業後、専修大学講師となり、以後半世紀にわたって一貫して本学に尽くし、総長在職中の昭和58年に亡くなった。

川島正次郎総長、相馬勝夫学長、森口忠造理事長の体制のもとで、文系総合大学の基盤を確立した。

学問分野では、昭和36年経済学博士学位取得の論文「新価保険」もあり、保険論の権威であった。私学振興についても日本私立大学連盟常務理事、日本私学研修福祉会理事長などの要職も歴任した。

本学への貢献も大きい。私財を投じて北海道短大に「相馬記念館」を建設、学内に若手研究者の留学制度である相馬学術奨励基金も設けた。本学の図書館には蔵書が多数寄贈され、学生の目に触れ親しまれている。